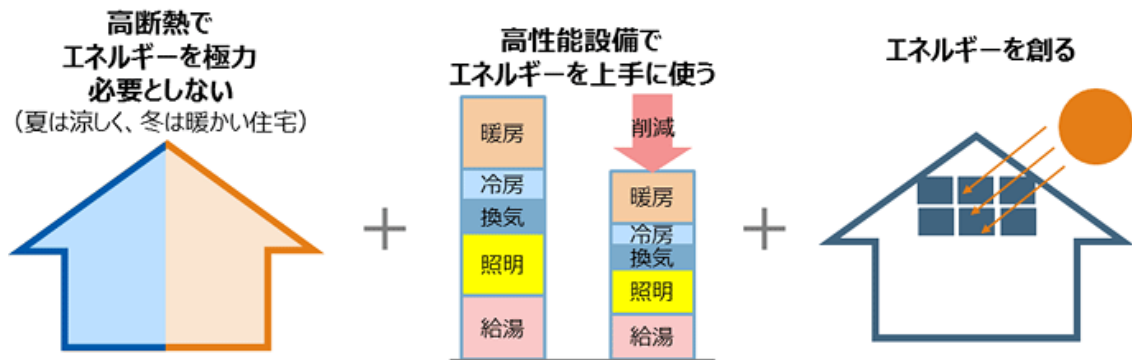


ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。

ZEHとは、「快適な室内環境」と、
「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下」を同時に実現する住宅



株式会社 総合建設のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）普及への取り組み

我が国では「エネルギー基本計画」（2014年4月閣議決定）において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅（以下、「ZEH」という）の実現を目指す」とする政策目標を設定しています。経済産業省資源エネルギー庁は、この目標の達成にむけたZEHロードマップの検討をおこない、そのとりまとめを2015年12月に公表しました。

株式会社 総合建設は、上記政策目標とその達成にむけたZEHロードマップに基づき、ZEHの自立的普及を目指して高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、ZEHを新築する、または既築住宅をZEHへの改修に努めることで、ZEHの普及拡大に取り組んで参ります。

ZEH普及率目標

	平成29年度目標	平成30年度目標	平成31年度目標	平成32年度目標
ZEHシ-ズ受託率	20%	30%	40%	50%
ZEH普及実績率	平成28年度 0%			

具体的なZEH普及策

【1】 ZEHの周知・普及に向けた具体策

1. ZEH仕様の標準化を中長期的に取り組み、オプション化または標準化としてZEHを商品化する。
2. ホームページやパンフレットを用いてZEHの普及および周知活動を行う。
3. ZEHの現場紹介や仕様書・データ比較などの資料を用意し、住宅性能や効果の提案を積極的に行う。

【2】 ZEHのコストダウンに向けた具体策

1. ZEH仕様の標準パッケージプランを作成し、メーカー等と協力してコストダウンを図る。
2. 高性能な設備導入だけでなく、設計計画の段階で日射遮蔽や通風などを考慮し、快適な居住空間を目指す。
3. フラット35などの金融優遇策を活用し、お客さまが採用しやすい環境を提案する。

【3】 その他の取り組みなど

1. 自社ホームページなどでZEH仕様工事の状況報告を行う。
2. ZEHの勉強会、講習会への参加、また住宅省エネルギー技術講習会に参加し、知識習得や理解度の向上を図る。